

1. この会社が目指す姿が理解できるか

世界に進出する企業としてグローバルな社会問題について今後一層取り組んでいくことを目標としていることが理解できる。SDGsの17の目標のうち、「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」と「目標13：気候変動に具体的な対策を」をはじめとした同社に親和性の高い目標へのさまざまな角度からの貢献を探っている。しかし、顧客のニーズに応じて社内でも探求を続ければ、少しずつでもなんらかの答えに近づくのではないかという意見には疑問に感じるところがある。これまでの発展化した社会では、人々のニーズ（主に環境問題を気に留めることなく人間の利便性や快適さを求めるというニーズ）に応えすぎたことは社会の発展に伴った環境問題が生じた原因となっていると考えるからだ。企業としては顧客のニーズに応えるということは必要ではあるが、それを第一に優先すると、同社が目指すグローバルな社会問題に取り組んで解決に貢献することは難しいのではないかと考える。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

新型コロナウイルス感染問題について、空調制御技術を活かしたさまざまなエンジニアリングを利用して、診察時やPCR検査時に、必要な場所に配置するだけでウイルス感染リスクを低減できる移動式エアバリアユニットの開発や、感染リスク低減が図れる空調システムの研究などのさまざまな活動を行っていることに関して、現在のニーズに適応していて競争優位性が理解できる。コロナ以外の面では、新規事業の拡大として、植物工業事業のさらなる拡充・拡大を実行しており、天候の影響を受けにくい植物工場で生産する安心安全な野菜を安定的に届ける自社量産実証工場を建設した。また、同社がこれまでも主要事業としていた塗装の面では、自動車塗装において静電気のみで行うことで、塗着効率100%を実現し、環境負荷の低減も可能とするシステムを開発した。同じく主要産業としていた空調の面では、インドのNicomac社へ資本参加し、空調設備技術の融合を図り、今後ますます需要が高まる衣料品メーカー向けクリーンルーム市場への対応力を強化している。同社の最大の強みとしては高いレベルの洗浄環境と徹底した温湿度管理を実現するクリーンルーム技術であり、競争優位性が理解できる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

欧米ではコロナ対策が一巡し、経済も回復に向かって動いているので国際情勢へのこの競争優位性には持続性がないように感じられる。コロナ以外の面での競争優位性は、これまで

にない新たな技術の発展・導入によるものであるため、結果が持続するかどうかは明確にはわからない。しかし、同社は試行錯誤の時間を許容できるほど資本や人材が揃っているため、開発を続けながら結果が出るまで取り組むことは意義があることだと考える。クリーンルーム技術に関しては、長い歴史の中進化しながら生み出されてきた技術なので今後の競争優位性にも持続性を感じることができる。しかし同社以上の技術を開発する企業が進出してくる場合もあるので、今後もこの技術に進化を加えていくことが必要であると思う。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

同社は技術を追求するエンジニアリング会社であるため、新たな事業展開を率いるリーダーシップのある存在として価値向上か、新たな事業を進める技術者としての価値向上は達成できると考える。しかし、他社との差別化はあまり見受けられなかった。同社はグローバルな社会課題への対処にも重きを置いているので、持続可能な価値創造の実現に向けて真剣に向き合う人材となることが可能であると感じた。空調などについて扱う同社だからこそ社会問題、特に気候変動に向けた率先した取り組みが可能であると感じ、同社がリーダーとなって気候変動に対処していく社会が作れるのではないかと感じた。そのため、気候変動に対する有効な解決策を考え出すことができれば、同社には実現する力があると思うので、会社だけでなく、社会を牽引するような人材になれるのではないかと感じた。また、グローバルな視点を持って社会問題について取り組むため、協調性、合理性、高い倫理観を持って、柔軟な対応ができる人材となることができるであろうと感じた。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

SDGsに貢献するため行っている取り組みがいくつもあることは、20ページの表を見て理解することができたが、特に力を入れていることについてより詳しく、重点的に説明することで、社会に対してさらに同社はグローバルな社会課題に対して真摯に取り組んでいることがアピールできると思う。また、この取り組みの中には間接的な取り組みもあると思うが、直接的な取り組みにより力を入れて、その取り組みとSDGsに対する貢献を詳しく特集すると、現在とりあえずSDGsと言っておけば環境問題に取り組んでいると思われるのでSDGsを掲げているといった他の企業もあると思うが、その企業との差別化がはっきりすると思う。また、「顧客第一」の創業理念を掲げ、社会のニーズに合致した技術を通して、豊かな環境の創造と産業社会の発展を図り、もって社会への貢献を目指すことについてだが、これまでの社会のニーズに応えすぎたことによって気候変動などの社会問題につながったという点について同社はどのように見ているのが少し気になる。どのようなニーズに応えることで、社会への貢献、社会問題の解決につながるのかということの詳細に述べることで、より信頼のできる会社へとなっていくと感じる。